

認定介護福祉士（仮称）モデル研修概要

（平成24年度老人保健健康増進等事業）

日本介護福祉士会では、昨年度、厚生労働省の補助（平成23年度老人保健事業推進費等補助金）を受けて、「認定介護福祉士（仮称）の在り方に関する検討会」を設け、認定介護福祉士（仮称）制度の構築に向けて検討して参りました。

認定介護福祉士（仮称）には、生活を支える専門職としての介護福祉士の資質を高め、利用者のQOLの向上、介護と医療の連携強化と適切な役割分担の促進、地域包括ケアの推進など、介護サービスの高度化に対する社会的な要請に応えること等が期待されており、本モデル研修は、この制度運用を目指して、厚生労働省の補助（平成24年度老人保健健康増進等事業）を受けて実施するものです。

1 企画；認定介護福祉士（仮称）の在り方に関する検討会

2 主催；社団法人日本介護福祉士会

3 研修期間

平成24年10月から平成25年8月頃まで（予定）

4 研修場所

- ① 読売理工医療福祉専門学校（東京都港区芝5-26-16）
- ② 東洋大学朝霞キャンパス（埼玉県朝霞市岡48-1）

5 受講者要件

次のすべての要件を満たすことを条件とします。

〔実務経験に係る事項〕

- ① 介護福祉士資格取得後の実務経験が5～10年である者
- ② 次のア、イいずれかである者
ア. 介護チームのリーダーとしての実務経験のある者（例；ユニットリーダー、サービス提供責任者等）であって、現在、リーダーへの指導を行う立場にある者（例；フロア主任や小規模拠点のリーダー、サービス提供責任者のリーダー等）
イ. 今後、アの役割につくことが期待され、法人が推薦する者

- ③ 居宅系・居住（施設）系サービス双方での生活支援の経験のある者が望ましい

〔実務経験以外の事項〕

- ④ 研修の課題の一環として、施設・事業所の担当フロア等においてサービス改善等に取り組むことを所属法人が認める者
併せてヒアリング調査やアンケート調査により、受講者個人に対する自己評価を行うとともに、施設長など勤務評定能力を有する上司や他職種等からの評価を行うことを所属法人が認める者
- ⑤ モデル研修のすべてに継続して参加できる見込みであると所属法人が認める者

6 集合研修の日程（日程・科目名・講師・会場）

本年度は次の日程で集合研修を実施する予定です。

	日程	科目	講師	会場
平成24年度日程（予定）				
第1回	10/13（土）	認定介護福祉士（仮称）に必要な介護実践の考え方	筒井澄栄氏（国立障害者リハビリテーションセンター研究所障害福祉研究部心理実践研究室長）	読売理工医療福祉専門学校
	10/14（日）	チーム運営の理解と職種間連携	藤井賢一郎氏（日本社会事業大学専門職大学院准教授）	読売理工医療福祉専門学校
第2回	10/27（土）	生活支援のための運動学	石井慎一郎氏（神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部リハビリテーション学科准教授） 村上貴史氏・長谷川由理氏（汐田総合病院リハビリテーション科理学療法士）	読売理工医療福祉専門学校
	10/28（日）	生活支援のためのリハビリテーションの知識・技術	筒井澄栄氏（国立障害者リハビリテーションセンター研究所障害福祉研究部心理実践研究室長） 廣瀬圭子氏（目白大学人間学部人間福祉学科助教）	読売理工医療福祉専門学校
第3回	11/17（土）	移動（移乗を含む）の自立支援の実践	廣瀬圭子氏（目白大学人間学部人間福祉学科助教）	読売理工医療福祉専門学校
	11/18（日）			
第4回	12/15（土）	疾患・障害等のある人への生活支援・連携	上野秀樹氏（社会福祉法人ロザリオの聖母会海上寮養護所副院長） 柴山志穂美氏（杏林大学保健学部看護学科看護養護教育専攻講師） 津野陽子氏（東邦大学看護学部地域看護学研究室助教）	読売理工医療福祉専門学校
	12/16（日）			
第5回	1/5（土）	心理・社会的支援の知識・技術	香山明美氏 （社団法人日本作業療法士協会常務理事）	読売理工医療福祉専門学校
	1/6（日）	福祉用具のフィッティング及びシーティングの技術	山崎泰広氏（株式会社アクセスインターナショナル代表取締役） 繁成 剛氏（東洋大学ライフデザイン学部助教）	
第6回	2/2（土）	総合的な介護計画作成の演習	本名 靖氏（東洋大学ライフデザイン学部助教）	東洋大学 朝霞キャンパス
	2/3（日）	応用的生活支援の展開と指導、介護実践の指導法	小平めぐみ氏（国際医療福祉大学大学院医療福祉経営専攻助教） 杉本浩司氏（社会福祉法人武尊会事業調査部長/特別養護老人ホーム伊興園施設長）	
第7回	2/16（土）	事例を用いた演習	内田千恵子氏（社団法人日本介護福祉士会副会長） 小平めぐみ氏（国際医療福祉大学大学院医療福祉経営専攻助教） 柴山志穂美氏（杏林大学保健学部看護学科看護養護教育専攻講師）	読売理工医療福祉専門学校
	2/17（日）			
第8回	3/16（土）	事例を用いた演習	杉本浩司氏（社会福祉法人武尊会事業調査部長/特別養護老人ホーム伊興園施設長） 中西正人氏（植草学園短期大学福祉学科講師） 本名 靖氏（東洋大学ライフデザイン学部助教）	読売理工医療福祉専門学校
	3/17（日）			
平成25年度日程（予定）				
4月から自職場においてサービス改善等に取り組んで頂く予定です。 また、集合研修は7月から2回程度で開催予定です（詳細は決定次第ご案内させていただきます）。				

※研修は、それぞれで土曜10：00～18：50、日曜9：00～17：50で開催する予定です。

7 研修受講にあたっての留意事項

(1) 事前事後学習

各科目で、集合研修の事前及び事後に課題を課します。

課題は次のようなものを想定しています。

① 事前学習

集合研修受講のために必要な知識を担保するための文献学習や自らの実践や課題をまとめることなど

② 事後学習

集合研修の後に研修で学んだことをまとめたり、自職場で実行することなど

(2) 事前テスト（合否を判定するものではありません。）

科目によっては、研修受講前に一定の知識を備えていることが必要であるため、事前テストを課し、所要の得点に達しない場合には文献学習等による補講の課題を課します。

(3) 修了課題

各科目で修了課題を課します。

(4) 自職場におけるサービス改善等への取り組み

研修で学んだ内容を踏まえ、25年4月から自職場（担当フロア等）において、例えば次のようなサービス改善等に取り組んでいただく予定です。

- ① 「移動・移乗の自立支援」
- ② 「排泄の自立」
- ③ 「食べることの支援」
- ④ 「身体の拘束等の廃止など」
- ⑤ 「障害特性に応じた介護」
- ⑥ 「心理的ケア、終末期ケア」
- ⑦ 「各種の専門的知識をもって他職種と連携・協働」
- ⑧ 「その他」（認知症ケア、福祉用具のフィッティング・シーティングなど）

サービス改善等に取り組むにあたって、自職場（担当フロア等）におけるサービス内容や利用者の状況について実態をまとめるなどデータ収集をします。

データの取り方や実施経過の記録等については、検討会が示す共通の枠組み・方法で行います。

(5) 自職場におけるサービス改善等への取り組みの評価

ヒアリング調査やアンケート調査により、受講者個人に対する自己評価を行うとともに、施設長など勤務評価能力を有する上司や他職種等からの評価を行います。

第三者が評価のために受講者の自職場（担当フロア等）に行くことがあります。

また、サービス改善等に取り組んだ後は、実施報告をまとめ、自職場内や研究会、学会等への発表を求めます。

〔会場案内〕

① 読売理工医療福祉専門学校

住所：東京都港区芝5-26-16

交通：JR山手線・京浜東北線「田町駅」西口徒歩2分

都営地下鉄三田線・浅草線「三田駅」A3出口徒歩1分

② 東洋大学朝霞キャンパス

住所：埼玉県朝霞市岡48-1

交通：東武東上線「朝霞台」駅又は

JR武蔵野線「北朝霞」駅下車徒歩10分



【問合せ先】

社団法人日本介護福祉士会事務局（担当者；神田・松下）

〒105-0001

東京都港区虎ノ門1丁目22番13号 西勘虎ノ門ビル3階

電話 03(3507)0784（受付時間 900から1800まで（土日祝日を除く））

FAX 03(3507)8810

URL <http://www.jacow.or.jp>

E-mail webmaster@jacow.or.jp
